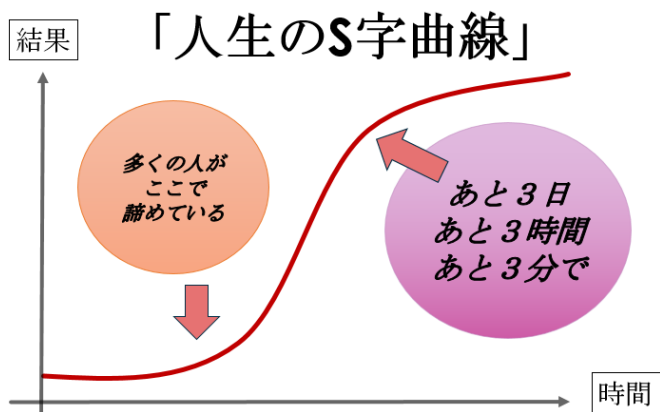




『もう限界だと思ったときが自分との勝負』

あと3日、あと3時間、あと3分だけ 全力を尽くせ！



6月29日（金）、センター試験200日前集会が行われました。冒頭、原田校長先生が71回生に向けて、「限界に挑戦」「苦しい時期が続いても決して諦めない」「最後の最後で成績は伸びる」「自分を信じて頑張れ」と激励の言葉をかけてくださいました。

高総体が終わって1カ月が経ちました。これからが本当の勝負の季節です。この夏どんな夏にするか、三者面談 → 夏季特別学習 → 雲仙学習合宿の流れの中で大きな目標・戦略を立てて頑張ろう！

200日前集会の意義=この100日間を戦略的に過ごすこと

200日前は自分を見直す最後のターニングポイント！

- ・自分自身を見直す
- ・学習スタイルを見直す
- ・優先すべき教科を見直す

⇒ 自分のために「じっくり」と時間を使える夏

これから3か月間の長期戦略 ①

- ⇒ 自分に本当に必要な学習とは？
- ・基礎基本の徹底
 - ・じっくりと問題に向き合う
 - ・夏に向き合うべき教科
- （どれも時間はかかるが…まだ、かけられる）

三者面談で宣言しよう！

⇒ 自分の長期的な戦略を、三者面談で保護者・担任の先生に宣言しよう！

これから3か月間の長期戦略 ②

- ・文系の「国語」「英語」「地歴」
 - ・理系の「英語」「理科」
- ⇒ ただし、授業への集中・自学力という学習の軸は変わらない。

★ 後田先生より



〔私たちを取り巻くリスク〕⇒ ここにどう向き合うかをしっかり決めて次の100日間を過ごす！

- ・SNS（スマホ）
- ・学校以外の学習ツール
- ・授業に集中できない状況
- ・模擬試験

〔これからの心構え〕

- ①「重要性」>「緊急性」… **今重要なのは苦手克服**であって、目の前の模擬試験の判定ではない。
- ②「ペンだこ」はできていますか？ 脳に汗をかいていますか？

⇒ 理想の学習とは？「じっくりと考え悩む学習」「1つの科目に意思を持って何時間も向き合う」

「基礎まで戻って1つ1つクリアしていく」

大切なのは自己評価。厳しく、**前向きな自己評価**をできないと目的がブレてしまう。判定などの外部評価に惑わされず、「**自分が今何をすべきなのか**」を正しく理解することです。

－ 私の決意 －

今日でセンター試験まで200日となりました。皆さんは今、どんな気持ちで勉強に取り組んでいるのでしょうか。ただ何となく勉強するのと、目標を持って勉強するのでは全く違うと思います。私は勉強が苦手です。高総体が終わり、毎日勉強するだけになった今、焦りと不安でいっぱいです。大学に合格したいと口で言うのはとても簡単ですが、実現させることは簡単なことではありません。私は「このままじゃダメだ」と思い、部活を引退してから、まずしっかりとした目標を立てることから始めました。そして、それを実現させるために自分は何をすべきなのか考え、時間の使い方を見直してみました。朝・昼は職員室前、放課後も下校時間ギリギリまで教室で勉強しようと決めて、家でも今までのスマホやテレビを見ていた時間を勉強するようにしました。23:30～5:00はしっかり寝るように生活のリズムを整えようと実践しています。最近感じていることは、スマホを使わなくなってから、朝が気持ちよくすっきり目覚めるとことです。

私は職員室前で勉強をしているとき、まわりの人が勉強しているのを見て、「もっと頑張らなくては」と考えさせられます。そんな友達や、今まで一緒に戦ってきた部活の仲間は、これからとてもいいライバルとなり、互いに刺激し、互いに成長しあえる存在になると思います。また、私たちには素晴らしい先生方がついています。たくさんを受験を経験した人生の先輩です。私たちの味方です。先生方も私たちのことを思ってたくさんを考えてくださっています。そういう先生方を信じ、私はこれからも質問や相談をして頼っていきたいと思います。

私は「当たり前のことを当たり前でできる」ことが一番大切だと思います。課題をしてくるのは当たり前のことです。基礎問題ができなくて、応用問題ができるわけありません。当たり前でできることが増えると実力がついてきます。まずは、やるべきことを手を抜かず、全力で取り組む姿勢づくりだと思います。

今やるべきことは何なのか。やるべきことをどれだけ本気でやれるのか。こんなに勉強できる機会は大学受験のほかにはないと思います。受験勉強は今しかできないことです。後悔しないためにもしっかり考えてみましょう。

センター試験の日は決まっています。何があっても残り200日です。200日しかないと思えるか、200日もあると思えるかはそれぞれだと思いますが、あと200日で何をしなければならないのか、たくさん悩み、たくさん学び、71回生全員で「全緑前進！」で成長していきましょう。

最後に、私の小学校からのバレー人生で、勝負の時・苦しい時に言い続けてきた『成功の哲学』を紹介して終わりとします。



「成功の哲学」を熱唱する代表生徒

成功の哲学

もし私が負けると考えるなら 私は負ける

もし私がダメだと考えるなら 私はダメになる

勝ちたいと思う心の片隅で無理だと考えるなら

私は絶対に勝てない

失敗をすると考えるなら 私は失敗する

世の中を見ても

最後まで成功を願った人だけが

成功しているのではない

か 全ては人の心が決めるのだ

もし私が勝てると考えるなら 私は勝つ

向上したい 自信を持ちたい と

いつも願うなら 私はその通りの人になる

さあ 再出発だ

強い人が勝つとは限らない

すばらしい人が 勝つとは限らない

「私はできる」

そう考える人が結局は勝つのだ